



・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① 0より小さい数を _____ といい、負の符号「 _____ 」を使って表す。
- ② 0より大きい数を _____ といい、正の符号「 _____ 」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を _____ という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____ という。
- ⑥ 負の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ⑦ 正の数は0より _____ 、絶対値が大きいほど _____ 。
- ⑧ 加法では 正負の数についても、加法の _____ 、
加法の _____ が成り立つ。
$$\circ + \triangle = \triangle + \circ$$
$$(\circ + \triangle) + \square = \triangle + (\circ + \square)$$
- ⑨ 自然数全体の集まりのことを自然数の _____ という。
- ⑩ ひき算のことを _____ といい、ひき算の結果のことを _____ という。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① 0より小さい数を 負の数 といい、負の符号「-」を使って表す。
- ② 0より大きい数を 正の数 といい、正の符号「+」を使って表すことがある。
- ③ 正の整数のことを 自然数 ともいう。
- ④ 数直線上で0にあたる点を 原点 という。
- ⑤ 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。
- ⑥ 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。
- ⑦ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。
- ⑧ 加法では 正負の数についても、加法の 交換法則、
加法の 結合法則 が成り立つ。
$$\bigcirc + \triangle = \triangle + \bigcirc$$
$$(\bigcirc + \triangle) + \square = \triangle + (\bigcirc + \square)$$
- ⑨ 自然数全体の集まりのことを自然数の 集合 という。
- ⑩ ひき算のことを 減法 といい、ひき算の結果のことを 差 という。

